

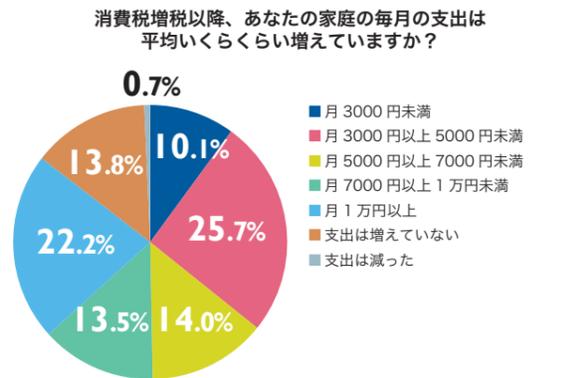
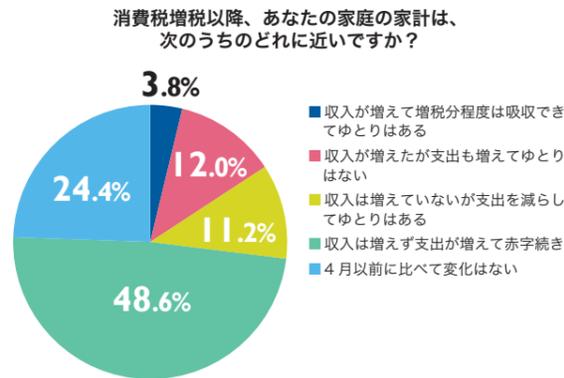
データで見る、家計のやりくり事情

収入が増えた、はわずか15.8% 半数が、支出ばかり増えて赤字続き

消費税が8%に上がってから約半年がたった2014年10月、全国の既婚女性を対象に、家計に関する調査を実施した。平均年齢46歳、専業主婦51.4%、有職主婦48.6%、79.7%に子どもがいるというプロフィール。

2014年4月以降の家計の状況は、「収入は増えず支出が増えて赤字続き」が半数近くをしめた。ゆとりの有無は別にして、「収入が増えた」人はわずか15.8%。まだまだ厳しい状況が続いているといえる。

毎月の支出増額は、4人に1人が「月3000円以上5000円未満」と回答。消費税増税前(2014年1月)の調査では、6割以上が「月々5000円以上節約したい」と答えていた。家計調査によれば2人以上世帯での消費支出平均は約28万6000円。増税3%分は8580円になり、5000円以上節約して3000円超の支出増、見事な主婦の数字感覚といえるのではないだろうか。また、月の支出が1万円以上増えたという人は22.2%に上り、これでは少しぐらい収入が増えても追いつかないのが現実だろう。

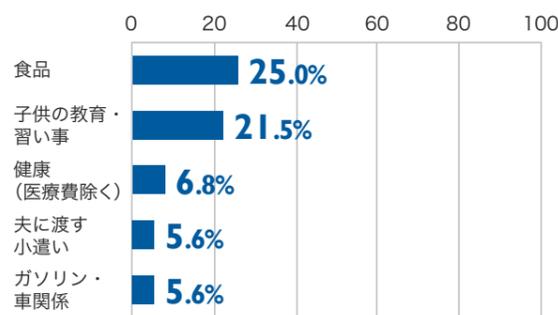


節約しているのも、削れないのも食品費用 50代以上に響くキーワードは“健康”

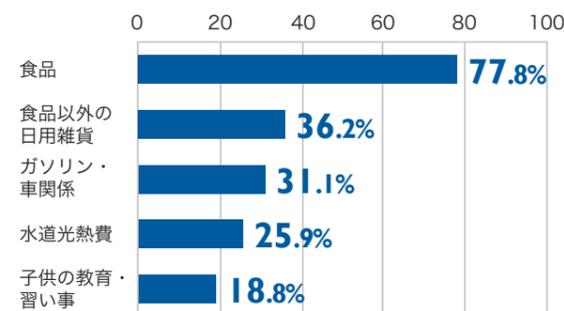
支出が最も増えた費目は「食品」が8割近くとダントツのトップ。増税分はもちろん、円安、天候不順などにより食品の価格そのものが上がっていることが大きく影響している。

家計全体の中で最も節約している費目ベスト5が左下、最も支出を削れない費目ベスト5が下のグラフ。どちらもトップは「食費」だが、買い物の仕方やお料理を工夫して節約を実現している派と、健康にかかわるから、または安心・安全を重視するから削れない派の2つに大きく分かれる。“健康を意識して食費は削れない”というコメントは、50代以上に多く見られるのが特徴だ。

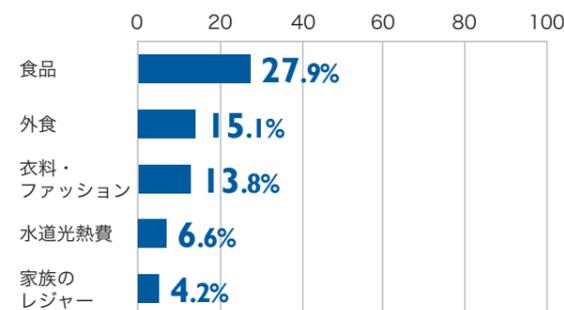
消費税増税以降でも、最も支出を削れない費目ベスト5 (単一回答)



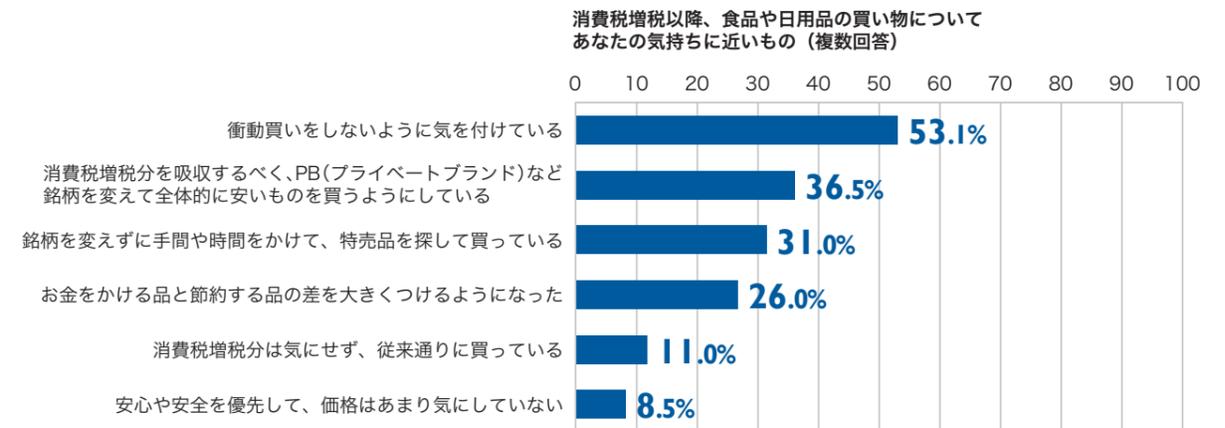
消費税増税以降、支出が増えた費目ベスト5 (複数回答)



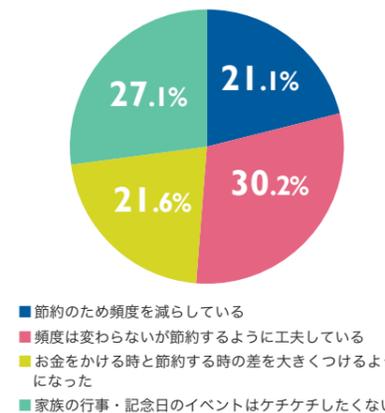
消費税増税以降、最も節約している費目ベスト5 (単一回答)



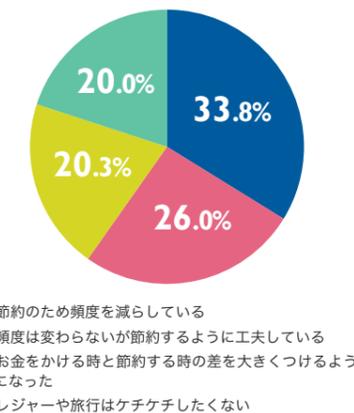
【調査概要】
 調査期間 2014年10月2日～5日
 調査方法 リビングWeb会員、読者組織リビングパートナーへのWeb調査
 有効回答 全国既婚女性716
 ※各データは小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100%にならないことがある



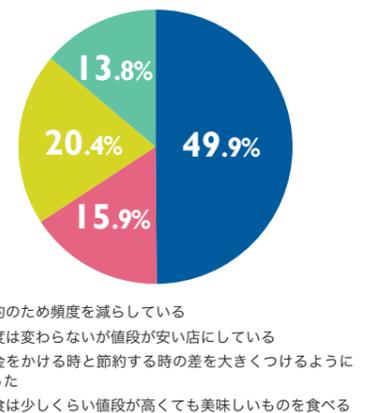
消費税増税以降、家族の行事・記念日のイベントについてあなたの行動に近いもの



消費税増税以降、レジャーや旅行についてあなたの行動に近いもの



消費税増税以降、外食についてあなたの行動に近いもの



家族の行事・記念日は大切に。外食は特別な時の楽しみ

食品や日用品を購入するときの気持ちを聞いたところ、衝動買いをしないように気を付けている人が53.1%にのぼった。日常のことだけに、つい、余分な物まで購入しがちだった買い物の仕方を見直している人が半数以上。“ついで買い”や“衝動買い”を誘発する仕掛けも難しくなっている、といえる。

家族の行事・記念日、レジャー・旅行、外食を、それぞれ増

税以降どのようになっているかを聞いたところ、家族の行事・イベントにはある程度お金をかけている様子が見える。外食の頻度を減らしている人は約5割もいるが、イベントが何もなければ控え、行事や記念日などに外食を楽しんでいる、というのが実態だろう。

最も節約している費目とその理由

- 【食品費】**
- 一番努力できるから。工夫が楽しくもあります(42歳/埼玉)
 - 一番ムダがあったところなので(38歳/北海道)
 - お買いものの仕方やお料理によって節約できることがあるので。他の費用は削れないところばかりなので節約のしようがありません(51歳/兵庫)
 - 増税に加えて値上げもされているので、今までどおり買っているとあっという間に予算を超えてしまう(47歳/大阪)
- 【外食費】**
- 家で食べるほうが安いのでその分たまにプレミアムビールを買う(53歳/福岡)
 - 健康管理にもなりますし、一石二鳥だと自分たちに言い聞かせて外食費は節約しています。その分、スーパーで少し豪華なものを買ったりして、ストレスをためないようにもしています(26歳/三重)
 - 質を落とすたくはないので、回数を減らした(33歳/大阪)
 - 家族の食べる量も増えてきたので、外食は特別な時のみにした(37歳/兵庫)

From FA

最も削れない費目とその理由

- 【食品費】**
- 安全で安心なものを口にしたい。食品を削ると精神的に苦痛(50歳/兵庫)
 - 健康のためには栄養ある食品を高くても買って食べないと、かえって病気になる医療費がかかってしまうから(57歳/東京)
 - 食べることは健康の基本だと思っているので、多少高くても無添加や有機を選びたいから。長い目で見れば病気になるににくい体作りをしたい(40歳/神奈川)
- 【教育費】**
- 子供の習い事はその時期でしか身につかないことであり、時期を逸すると意味がないので、少々値上げは覚悟して支出している(47歳/大阪)
 - 先行きに不安があるからこそ、子供にはしっかりと生きていける力を付けてやりたいと思います(44歳/兵庫)
 - 保育費。パートをやめて自宅で子どもを見る方がプラス取だが、子供に歌やダンス、英語を別途習わずと金銭的にもマネジメン的にも大変になるし、なにより自分が24時間の育児に音をあげると思うので(39歳/岡山)